

インフラメンテナンス九州フォーラム2025 連携の先に、 みんなで“つなぐ”インフラの未来



主催：インフラメンテナンス市区町村長会議 九州・沖縄ブロック
インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

2025年10月8日(水)
13:00～17:30(受付12:30～)

福岡国際会議場 4F

〒812-0032

福岡県福岡市博多区石城町2-1

参加費
無料

会場参加：先着200名 WEB参加：先着500名



当イベントはCPDプログラムに認定される予定です

昨年に引き続き、「インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック」と「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム」との合同開催です。市町村が抱えている課題を共有し、みんなで“繋ぐ”、未来に“継ぐ” 今後のインフラメンテナンスのあり方について討論します。

写真：インフラ群（（一社）長崎県観光連盟、管清工業（株）提供）

プログラム

1. 開会の挨拶

13:00～13:20

インフラメンテナンス市区町村長会議
九州・沖縄ブロック幹事 長崎市長
九州フォーラムリーダー 久留米工業大学 学長
国土交通省 九州地方整備局 局長
内閣府 沖縄総合事務局 次長

鈴木 史朗 氏
日野 伸一 氏
垣下 禎裕 氏
山田 哲也 氏

- (1) 市町村における課題（ニーズ）調査結果の報告
- (2) 自治体意見発表
～各県における自治体の具体的課題や取組事例を紹介～
- (3) とりまとめ

第一部：基調講演

2. 国土交通省の

13:20～13:50

インフラメンテナンスに関する取組について

国土交通省 総合政策局

公共事業企画調整課 課長

森下 博之 氏

3. 下水道等に起因する大規模な道路陥没事故

13:50～14:20

を踏まえた管路マネジメントの転換について

国土交通省(上下水道審議官グループ)

大臣官房参事官(上下水道技術)付 課長補佐 外園 明成 氏

第二部：市区町村長会議

4. 市町村が抱える

インフラメンテナンスの課題

14:30～15:40

【登壇者】

柳川市長
武雄市長
長崎市長
熊本市長
日田市長
鹿屋市長
浦添市長

松永 久 氏
小松 政 氏
鈴木 史朗 氏
大西 一史 氏
棕野 美智子氏
中西 茂 氏
松本 哲治 氏

第三部：パネルディスカッション

5. パネルディスカッション

15:55～17:25

『連携と実行～群マネに挑む挑戦者たち～』

【ファシリテーター】

(株)日本ピーエス スマートインフラサービス推進室長 福島 邦治 氏

【登壇者】

国土交通省 総合政策局

公共事業企画調整課 調整官

岩館 慶多 氏

静岡県 交通基盤部 政策管理局

建設政策課 未来まちづくり室 室長

平井 武志 氏

(公財) 宮崎県建設技術推進機構

常務理事 兼 技監

児玉 広文 氏

(一社) 行政エンジニア支援機構(そらふ)

代表理事

木下 義昭 氏

6. 閉会の挨拶

17:25～17:30

九州フォーラムサブリーダー

(一社) 建設コンサルタンツ協会 九州支部 顧問 田中 清 氏

申込方法



PCより

<https://ws.formzu.net/dist/S42922801/>



スマートフォンより



【申込期間】

2025.9.16～2025.10.3

【協賛】(一社)九州建設技術管理協会/(一社)九州地域づくり協会/(一社)九州地方計画協会/(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部

【後援】国土交通省九州地方整備局/内閣府沖縄総合事務局/(公社)土木学会西部支部/(公社)日本コンクリート工学会九州支部/

(公社)地盤工学会九州支部/(一社)九州橋梁・構造工学研究会/(一社)日本建設業連合会九州支部/

(公社)日本技術士会九州本部/(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部/(一社)日本橋梁建設協会/

(特非)九州コンクリート製品協会/(公社)日本工学アカデミー九州支部/(株)日刊建設工業新聞社/(株)九建日報社/

(株)日刊建設通信新聞社

第一部 プレゼンター



国土交通省 総合政策局
公共事業企画調整課 課長 ^{もりた ひろゆき}
森下 博之 氏
九州地方整備局企画部長、大臣官房参事官（イン
ベーション）を経て、2025年より現任。現在は、公
共事業企画調整課長として、国土強靱化やインフラ
老朽化など、公共事業に関する様々な課題に取り組
んでいる。

第一部 プレゼンター



国土交通省【上下水道審議官グループ】
大臣官房参事官（上下水道技術）付 ^{ほかぞの めいせい}
課長補佐 **外園 明成 氏**
2009年度に東京都庁に入庁、河川・道路・下水道
の整備や維持管理を経験。2024年度より現任。
埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえた「管路マ
ネジメントの転換」に向けた役割を担う。

第二部 市区町村長会議



長崎市長 ^{すずき しろう}
インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック幹事
鈴木 史朗 氏
長崎県長崎市生まれ。東京大学法学部を卒業後、運
輸省（現・国土交通省）に入省。観光庁企画室長、
内閣府地方創生推進事務局総括参事官、海上保安庁
第五管区海上保安本部長、九州運輸局長などを歴任。
令和5年4月に長崎市長に就任。

第二部 市区町村長会議



柳川市長 ^{まつなが ひし}
インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック企画委員
松永 久 氏
1989年柳川市役所に入庁。産業経済部長、総務部長
を経て、2025年に柳川市長に就任し現在1期目。市
職員時代は、大雨時の洪水対策として、「先行排
水」を地域住民と共に推進した。市長就任後も災害
に強いまちづくりを目指している。

第二部 市区町村長会議



武雄市長 ^{こまつ ただし}
インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック企画委員
小松 政 氏
東京大学法学部卒業後、総務省入省。
大分県庁、内閣官房、福岡市役所への出向を経て、
総務省行政管理局副管理官を最後に退職後、武雄市
役所へ入職。財政課、企画課等を経て平成27年1月
武雄市長に就任。現在3期目在任中。

第二部 市区町村長会議



熊本市長 ^{おおし かずふみ}
インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック企画委員
大西 一史 氏
九州大学大学院法府博士課程単位取得。内閣官房長官
秘書を務めた後、熊本県議会議員5期連続で当選。2014年
12月に第32代熊本市長に就任。現在3期目。2022年度か
ら2024年度までインフラメンテナンス市区町村長会議九
州・沖縄ブロック幹事を務め、防災・減災対策、道路の
渋滞対策、交通安全対策等に積極的に取り組んでいる。

第二部 市区町村長会議



日田市長 ^{あらい みちこ}
インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック企画委員
椋野 美智子 氏
大分県日田市生まれ。東京大学法学部を卒業後、厚
生省（現・厚生労働省）に入省。在フランス社会保
障制度調査員、厚生労働省社会・援護局総務課長な
どを歴任。大分大学副学長、松山大学特任教授など
を経て、令和5年8月に日田市長に就任。

第二部 市区町村長会議



鹿屋市長 ^{なかにし しげる}
インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック企画委員
中西 茂 氏
九州大学経済学部を卒業後、鹿児島県庁に入庁。土
木部次長、総括危機管理監（兼）危機管理局長、農
政部長を歴任後、平成26年2月に鹿屋市長に就任。
現在3期目在任中。

第二部 市区町村長会議



浦添市長 ^{まつもと てつじ}
インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック企画委員
松本 哲治 氏
沖縄県浦添市生まれ。カリフォルニア大学パーク
レー校修士課程修了後、社会医療法人仁愛会 介護老
人保護施設アルカディアに勤務。NPO法人ライフサ
ポートで代代表理事を務めたのち、平成25年2月
に浦添市長に就任。現在4期目在任中。

第三部 ファシリテーター



（株）日本ピーエス スマート ^{ふくしま くにはる}
インフラサービス推進室 室長 **福島 邦治 氏**
1997年（株）日本ピーエス入社。以来、PC橋の
施工管理、設計、技術計画や企画に携わる。2017年
～2025年までツタワルドボクの副会長を兼任。
土木の魅力ややりがいを学生に伝える活動に従事。
2023年7月からインフラ維持管理の部署を担当。

第三部 パネリスト



国土交通省 総合政策局 ^{いわぐち けいた}
公共事業企画調整課 調整官 **岩館 慶多 氏**
2014年入省。2024年より現任。現在は、公共事業企
画調整課において、的確なインフラメンテナンスの
確保に向け、地域インフラ群再生戦略マネジメント
等を推進する役割を担う。

第三部 パネリスト



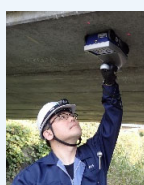
静岡県 交通基盤部 ^{ひらい たけし}
建設政策課未来まちづくり室長 **平井 武志 氏**
1988年静岡県庁に入庁。沼津土木事務所修善寺支所
長、技術調査課技監等を経て、2025年4月より現職。
主に先発注機関にて、道路、河川、港湾等々、様々
な工事の発注・監督に携わってきた。

第三部 パネリスト



（公財）宮崎県建設技術推進機構 ^{こだま ひろふみ}
常務理事 兼 技監 **児玉 広文 氏**
1988年宮崎県庁に入庁。延岡土木事務所技術担当次長、
県土整備部工事検査課長を経て、2025年4月より現職。
現在は、県内市町村の橋梁定期点検の地域一括発注や
修繕計画策定及び更新から各データの管理まで、総合
的なインフラメンテナンス支援に取り組んでいる。

第三部 パネリスト



（一社）行政エンジニア支援機構 ^{きのした よしあき}
（そら糸）代表理事 **木下 義昭 氏**
産業機械メーカー勤務を経て2002年に玉名市入庁。革
新的な橋梁メンテナンスモデル「玉名市モデル」を構
築し、早期に予防保全型メンテナンスへ移行させた。
私費で（一社）行政エンジニア支援機構（そら糸）を
設立し、技術系職員のつながりを創出している。

お問い合わせ先

平日 9:00～17:00
（定休日：土、日曜日）

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部 吉田 鉄治

TEL：092-434-4340 / E-mail：imkyushu@jcca.or.jp

インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムHP <https://jcca-kyushu.jp/imkyushu/>